

# 命の糧「食」の価値を 感じ・考え・伝えるために

教師をめざす学生を対象とした酪農家民泊体験実習の可能性

パネリスト

近江 正隆 氏（（株）ノースプロダクション社長、北海道教育大学釧路校非常勤講師、  
文部科学省「今後の学校における食育の在り方に関する有識者会議」委員）

半澤 礼之 氏（北海道教育大学釧路校准教授）

伊藤 美実 氏（北海道教育大学釧路校地域教育開発専攻2年生）

アドバイザー

佐々木 貴子 氏（北海道教育大学札幌校教授）

主催 北海道教育大学E S D推進センター

共催 北海道教育大学釧路校

後援 釧路市教育委員会 北海道教育庁釧路教育局 JA北海道中央会根釧支所

協力 北海道教育大学釧路校大学祭実行委員会

現在、学校においても様々な食育の取り組みが行なわれています。食育をさらに充実発展させるためには、日々、子どもと向きあう教師自身こそが「食」とこれを産みだす第一次産業・農山漁村の価値を「体験」を通じて身をもって実感し、頭で考え、他者に伝える力を身に付けていることが必要となります。以上の問題関心から、本学では将来教師をめざす学生を対象とした酪農家宅への食育民泊体験実習を軸とした学習プログラムを実施しています。本シンポジウムでは、2年目を迎えた取り組みの成果を報告、今後の課題について検討を加え、教師を目指す学生を対象とした酪農家宅民泊体験実習の可能性を探ります。

2014年 **10月25日** (土)

13:30～15:30 開場30分前 入場無料

**北海道教育大学釧路校 講義棟502教室**